

森林環境譲与税に関する令和2年度の決算状況（美深町）

(4) 事業区分	(5) 事業名	(6) 事業総額（千円）				(7) 事業内容	実 績	(11) 税導入の効果
		(A)+(B)+(C)	(A)うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）	(C)うち他の財源（千円）			
⑫ その他（人材育成等）	北の森づくり専門学院地域研修宿舍整備	851	851			次代担う人材の育成を図るため、令和2年度より開校した北の森づくり専門学院基礎・応用研修宿舍の備品整備を実施。	北の森づくり専門学院生徒の宿泊に必要な寝具等を購入	【ワンフリーズ】 税活用により、 ・担い手確保に向けた取組みを行った。 ・小中併設校を建設し、SGEC-CoC全体認証を取得するための審査費用を充当し、永続的な資源活用を可能にする森林認証制度の推進を図った。 ・西団地公営住宅立替工事を木造とし、建築材を国産材とすることで、木材利用の普及促進を図った。
⑫ その他（人材育成等）	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会負担金	50	50			道内の林業関係団体・自治体にて「北海道林業・木材産業人材育成支援協議会」を設立し就学支援用の基金を開設し、北の森づくり専門学院に入学する生徒に対し地域実習やインターシップなどに係る移動経費等への支援を行い学生負担の軽減を図る。	事業体数：1 支援対象者数：40	【詳細】 本町の森林面積は総面積の86%を占めており、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に向けて、国や道の森林整備事業予算を中心に整備を進めてきました。 本年度は本税を活用し、北の森づくり専門学院地域研修の宿舍を整備することで、学生が安心して研修やインターシップを行えるよう受入れ体制が構築され、担い手確保の推進が図られた。 また、上川管内広域で「緑の循環会議（SGEC）」を取得したことにより、町産材の利用促進普及啓発に影響をあたえており、令和2年度において小中併設校を建設し、建築材の72%以上が町産材の森林認証材を使用したSGEC-CoC全体認証プロジェクトを取得するため審査費用に本税を充当した。このことにより、伐採から製材までの一連のサイクルが確立され、林産業の活性化が図られている。
⑦ その他（森林整備）	上川森林認証協議会負担金	180	180			上川管内の4市16町2村で連携して森林認証（SGEC、CoC）を取得し、持続的な森林整備及び木材の利用促進を推進するために設立した「上川森林認証協議会」への負担金を拠出し、協議会が主体となって、森林認証取得や取得に係る勉強会などの取組を実施。	町内のSGEC森林認証取得面積：4,964ha	
③ 私有林整備	美深町民有林等活性化推進事業（間伐）	1,067	1,067			民有林森林所有者が間伐事業を実施した場合、ha当り26,400円を町単独補助。		
③ 私有林整備	美深町民有林等活性化推進事業（作業路補修）	875	875			民有林の森林整備に係る作業路の補修事業を実施した場合、m当り2,500円以内を町単独補助。	補修（350m）	
③ 私有林整備	美深町民有林等活性化推進事業（下刈）	1,907	1,907			民有林森林所有者が下刈事業を実施した場合、公共補助金算出に係る標準経費の100分の16以内を町単独補助。	下刈（94ha）	
③ 私有林整備	美深町民有林等活性化推進事業（枝打ち）	163	163			民有林森林所有者が枝打ち事業を実施した場合、公共補助金算出に係る標準経費の100分の16以内を町単独補助。	枝打ち（5ha）	
③ 私有林整備	美深町民有林等活性化推進事業（野そ駆除）	237	237			町内において、森林組合に委託し公共・非公共事業を実施した野そ駆除事業に対し、散布料の1/2以内を町単独補助。	野ねずみ駆除（113ha）	
⑯ その他（木材・普及啓発関係）	SGEC-CoC認証登録審査手数料	581	581			令和2年度に仁宇布小中学校の建設し、大部分の部材は町産材（認証材）を利用した建設であり、建設する学校に対しSGECプロジェクト認証の取得し、その審査費用等に係る経費。	研修・イベント等回数：13 人数：248	
⑬ 木造公共建築物の整備等	西団地公営住宅立替工事	77,495	5,344	4,599	67,552	西団地公営住宅が老朽化に伴う立替工事を実施し、建築材（土台、構造用集成材、構造材、下地材）に国産材を使用して木材利用の促進を図る。	施設数：2 木材使用量：87㎡ （内国産材：87㎡）	
⑰ 基金積立（森林整備等）	森林環境整備基金	6,971	6,971			次年度以降の美深町民有林等活性化推進事業に充てるため積立金		
合 計		90,377	18,226	4,599	67,552			